

令和6（2024）年度

学びによる地域づくり実践セミナー ② 実施報告

実施日：令和6（2024）年 11 月 9 日（土）

学びによる地域づくり実践セミナーは、学びを生かした講座運営の演習から地域活動に必要な力を身に付けることをねらいとした講座です。第1回では地域活動についての基礎的な知識を学んでいきました。今回の第2回から講座企画について学んでいきます。



講話「講座企画の運営とポイント」

総合教育センター職員

最初に、第4回の研修で行われる総合教育センター開放事業「学びの杜の冬休み」の趣旨を伝えました。その趣旨を踏まえた上で、運営の方法や安全上の配慮、準備物についてなど講座を企画する上で必要なことを説明しました。また、講座の企画をよりよくするポイントとして、チームとして活動するために、ねらいを明確にすることや来てもらった人たちに楽しんでもらうための工夫をすることを話しました。

演習「子どもたちの体験活動」

センターボランティアの会



センターボランティアの方たちに、実際に子ども向けのイベントで行っている講座を実践していただきました。受講者は用意していただいた4つの講座を15分ずつ体験しました。講座を楽しむ一方、自分たちが企画運営するときにはどのように楽しませ、どの程度の準備をすれば良いのかなどを考えることができたようです。

演習「子どもたちのための講座を企画しよう！～学びの杜の冬休みの講座企画～」

総合教育センター職員

午後は、学びの杜の冬休みに向けて実際に行う講座の企画が行われました。受講者は、これまでに学んだこと、体験したことを生かして、グループごとにアイデアを出し、講座の企画を進めていました。



企画の内容が決まると、講座で使う用具等の準備に入りました。また、どのような安全上の配慮が必要か、広報の方法はどのように行うのかなどの話し合いも進めました。

自分たちの企画が形になっていくのを楽しみながら、次回の研修に向けて意欲が高まっているような様子でした。

<受講者の感想から>

- ・今まで大学生を対象としてワークショップしか企画・運営したことがなかったので、小さい子向けのイベントの企画の難しさを学ぶことができた。また、実際に体験してみて、工作はアイデアであふれていることに気付いた。
- ・子どもに楽しんでもらう企画を考えるためには、企画側も楽しむ気持ちが大事だと体験を通して学ぶことができた。
- ・講座を企画する際は、参加者の立場であらゆることを考慮する必要があるのだと改めて感じた。
- ・子どもたちに安全に楽しんでもらえるように考えることが大変だった。
- ・アイデアを出し合うことで、よりアイデアが深まる感じが実感できた。
- ・イベントはただ開催して終わるのではなく、目的をもって企画することが大切なのだと気付くことができた。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp